

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・40〉	いわき市立小名浜第二小学校
〈実施日〉	平成 28年 7月 4日 (月)	授業参観日
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は () に教科等を入れてください。	
	1 理科	② 学級活動
	3 総合的な学習の時間	4 その他 ()
〈実践内容〉	○ クラスの児童を対象に、事前に聞き取り調査を行ったところ「ウィルスのようなもの」「ばい菌」などのイメージだけで、詳しく理解している児童はいなかった。これらの実態から、まずはどのようなものを理解させるために紙芝居「ハウシャ線ってなんだろう」を使って授業を行った。	
	○ 授業の実際 第3学年 「放射線の正体」 ねらい 放射線の性質とその特徴について正しく理解する。 めあて 放射線って何だろう 資料 「ハウシャ線ってなんだろう」	
	学習の流れ 1 放射線について調べる。 ・国語辞典を使って調べたことを、ワークシートに書き出して読む。 2 紙芝居「ハウシャ線ってなんだろう」を見る。 3 放射線の特徴について話し合う。 ・目に見えない ・臭いがない ・体を通り抜ける 4 身の回りの放射線について興味をもつ。 ・温泉や宇宙など普通に生活している中にもある。 ・病院で使われている。(レントゲン写真提示) 5 ワークシートをみて学習を振り返り、気を付けることを確認する。 ・外で遊んだら必ず手洗いやうがいをする。 ・放射線が高いといわれている場所には近づかない。 ・お風呂に入ったりシャワーを浴びたりして、いつも体を清潔に保つ。 6 感想を話し合う。	
〈成果〉	○ 放射線についての知識がほとんどないという実態から、紙芝居や本物のレントゲン写真などの資料を使うことにより、視覚的に捉えやすく、学習内容を理解することができた。 ○ 子どもの感想を読むと「今までばい菌のよううつるものだと思っていたが、そうではないことがわかり安心した」「放射線のことをわかった」「体を通ることに驚いた」などが多かった。	
〈課題〉	○ 2011年の大震災当時の記憶があまりない児童にとって、放射線に対する意識は低いと感じたが、正しい知識を持たせる指導は必要である。 ○ うがい、手洗いなど当たり前のことをきちんと継続させることが大切である。 ○ 今後も発達段階に応じて、指導していく必要がある。	
資料作成担当者職 (教諭) 氏名 (井出しのぶ)	学校電話番号 (54-3342)	

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)